



## KENJA GLOBAL (賢者グローバル) 出演のお知らせ

2024年12月1日(日)より、インタビュー番組配信開始  
株式会社レーベン 代表取締役 高部 篤 出演!



<https://www.yokohama-city.co.jp>



<https://www.yokohama-mirai.jp>

現代のビジネスシーンリーダーにフォーカスした動画配信サイト「KENJA GLOBAL(賢者グローバル) “PRESIDENTS OF 500”」に、弊社代表取締役の高部 篤が掲載され、インタビュー動画が公開されましたので、下記の通りお知らせいたします。



本番組は、現代を生きる「KENJA=経営者」の言葉を独自の視点で捉え、視聴者に発信するインタビュー形式による配信番組です。混迷の時代に、経営者の理念やビジョン、人間的魅力、ビジネスモデルなどについて、経営者自身の生の声を通して『働く楽しさ』、『新しい事に挑戦する勇気』、『困難を乗り越える力』、『前向きな心』を、次世代を担う若者、起業を目指す方などへメッセージを送る番組構成となっております。

サイト URL : <https://www.kenja.tv/president/detkaa6zb.html>

番組配信開始日 : 2024年12月1日(日) ~

今回のインタビューでは、経営の上で大切にしている事のほか、ものづくりや開発の理念やビジョンを語っておりますので、是非、この機会に本番組動画をご閲覧くださいますようお願い申し上げます。

### 番組ストーリー

#### ～驚きと感動を届ける商品作り～

出演 : 株式会社レーベン 代表取締役 高部 篤

幼少期からものづくりに魅了され、数々の体験と挑戦を重ねてきた賢者。

現在では生活用品を主軸に据え、一般家庭向けのキッチン用品やカトラリー、学校給食向けの調理器具まで

幅広い商品の開発・製造を手掛けている。

世代を超えて身近で愛される商品を生み出すため、日々奮闘し続ける賢者が追求する手道具とは—

▼ 出演者プロフィール

## ●出演者プロフィール

### 高部 篤（株式会社 レーベン 代表取締役）

生活用品『ののじ』ブランドの創設者。創設時より、『ののじ』の多くの商品を開発。ののじ生活用品（調理器具・ヘルスケア用品・カトラリー・美容用品・医療機器・ペット用品など）オリジナル開発製品の例として、独自の発想から生まれた、ワイヤー構造の開発製品は「爽快ソフト耳かき」から始まり、学校給食向けの「ワイヤーターナー」や「掬いかご」、家庭用の「ポテっとポテサー」や「パクハグトング」など、多くの商品に展開。その独創性ある開発力により、元来、皮むきだったピーラーを「ワッフルカット」や「ヌードルカット」など“飾り切り”ができるデコレーションの世界へ発展。素早くカットすることを可能にした、世界初の2枚刃ピーラー「キャベピィ MAX」「キャベピィ MAX-EX」を開発。さらに進化させた、世界初! 3タイプの刃を交換できる“ののじ 天才ピーラー”。世界初の4枚刃を持つ天才ピーラーはSNS やメディアにも取り上げられています。開発ブランド『ののじ』、『ロゼオール』、『フェアリーゴットマザー』、『LEBEN（雷片）』

## ●略歴ストーリー

### ▶幼少期～学生時代

豊かな自然に囲まれた農家の次男坊として生まれました。幼少期は田畑や野山、川と共に生活し、牛馬や豚、山羊などの動物と触れ合って育ちました。木刀を作っては友達とチャンバラ遊びをしたり、夏は川で泳ぎ魚を捕ったりと、自然の中で遊んでいました。農作業も手伝い、草むしりや脱穀、炭焼き、木こりなどに参加しました。父が中古の機械を修理する姿を見て、私もものづくりに興味を持ちました。高校時代はバイクで往復50kmの道のりを通学し、真空管ラジオを無線機に改造するなど、失敗を恐れずに試行錯誤することを楽しんでいました。

### ▶社会人時代

社会に出てからは、ソフトウェア企業を立ち上げ、開発に情熱を注いできました。しかし、製品の良さを伝える難しさに直面し、特に製品をわかりやすく説明することに苦勞しました。一番の悩みは、じっくりと耳を傾けてもらえないことでした。このままでは、努力が報われず、一生のうちに認められる製品に限られてしまうと感じ、短期間で評価されるものを作りたいと思うようになりました。そこで、生活用品の開発に転じ、手に取った瞬間に価値が伝わる製品作りに挑戦しました。この転換は、私にとって新たな道を切り開く大きな一歩となりました。

### ▶起業のきっかけ

人々を驚かせ、感動させる製品を創りたいという思いで、生活用品の開発を始めました。1998年に発表した銀の耳かきは、その独創性と品質で話題になりましたが、量産時の課題に直面しました。ある日、独自の発想を得て試作工場に通い詰め、ワイヤーをU字に曲げる構造を発見。試行錯誤を重ね、2年以上を費やして「爽快ソフト耳かき」を完成させました。この成功は、新たな商品展開の基盤となり、学校給食向けのワイヤーターナーや掬いかご、パクハグトングなど、多くのイノベーションを生む原動力となりました。今後も驚きと感動を届ける製品を追求していきます。